



今月のテーマ 「離床センサー KYT」

KYT（危険・予知・トレーニング）は、スタッフの危険予知、対応能力を高める目的で採り入れられる手法です。今月号は、離床センサーに関連する KYT シートを作ってみました。それぞれのシーンにどんな危険があり（予測）、どんな対策が必要か（対策）ぜひ考えてみて下さい！

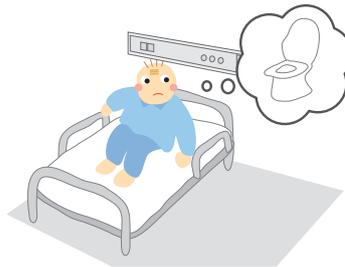
シーン① 入院患者 A さん 

- ・自立歩行不安定
- ・ナースコール指導不可能
- ・一人でトイレに行きたい欲求あり
- ・アセスメント結果 危険度Ⅱ

A さんへの対応策

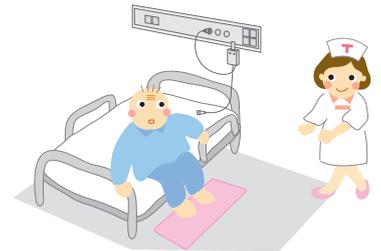
- ・30分おきに訪室

予測 どんな危険がありますか？



1人でトイレに行こうとして転倒

対策 どんな対策が必要ですか？



床センサーを設置して行動把握。鳴るとすぐに対応してトイレに付き添い

シーン② 入院患者 B さん 

- ・自立歩行不可能
- ・ナースコール指導不可能
- ・アセスメント結果 危険度Ⅲ

B さんへの対応策

- ・3点柵 + 床センサー設置
- ・訪室による見守り強化

予測 どんな危険がありますか？



床センサーが鳴った時点では対応が間に合わない。

対策 どんな対策が必要ですか？

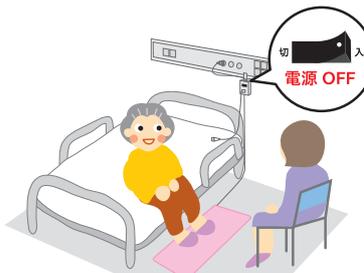


早いタイミングで検知するセンサーで行動把握する。場合によっては専用受信器に変える。

シーン③ 入院患者 C さん 

C さんに床センサーを使用中、家族の面会があったのでセンサーの電源を OFF にした。

予測 どんな危険がありますか？



センサー電源 OFF のままで、C さんが動くと、事故につながる危険がある。

対策 どんな対策が必要ですか？



電源状態を確認し、ON にする。



来月号もご期待ください。